

平成26年度 第4回豊山町子ども・子育て会議議事録

1 開催日時 平成27年2月26日(木) 午後3時00分～午後4時10分

2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室4

3 出席者 委員

社会福祉協議会代表	井上博司(会長)
民生委員協議会代表	中村里美
子ども会連絡協議会代表	安藤弘治
保育園父母の会代表	横井久美子
ゆめっこクラブ代表	岡島千衣子
愛知学泉大学 准教授	堀田裕子
天使幼稚園代表	中山 拓

欠席者 委員

母子寡婦福祉協議会代表	鈴木みどり
小児科医師	野崎千佳
一般公募	岡島順子

事務局

福祉課長	小川淳之
福祉課福祉・少子係 係長	加藤義紀
福祉課福祉・少子係 主任	長谷部佑介

4 議題 (1) 豊山町子ども・子育て支援事業計画(案)について  
(2) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等について  
(3) その他

5 会議資料 資料No.1 豊山町子ども・子育て支援事業計画(素案)  
資料No.2 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等について

## 6 議事内容

<p>司会</p>	<p>鈴木委員は、まだお見えになっておりませんが、定刻となりましたので、ただ今より平成26年度第4回豊山町子ども・子育て会議を開催いたします。私は本日の司会進行をさせていただきます福祉課福祉・少子係の長谷部です。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日、野崎委員、岡島順子委員から欠席される旨、連絡をいただいておりますのでご報告申し上げます。</p> <p>開会にあたりまして、井上会長から一言ごあいさつをいただきます。会長よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様こんにちは。大変お忙しい中、平成26年度第4回豊山町子ども・子育て会議にご出席いただきましてありがとうございます。早いものでもう2月の終わりです。町におきましても航空機や宇宙産業の開発に向け、施設の建設や町づくりが行われております。さらに、来年度は町及び県議会議員の改選があり、慌ただしい毎日です。</p> <p>ところで、世間では忌わしい事件が続いております。将来がある命が奪われ、マスコミは連日報道しています。特に気になるのは加害者が若年化し、その内容が残虐化していることです。自分の世界に閉じこもり、現実とバーチャルの世界が判別できなくなっているのではと憂慮しております。子どもたちを守っていくのは、親だけでなく地域全体で見守ることが必要だと思われまます。</p> <p>特に、今回の会議は、町長より諮問がありました豊山町子ども・子育て支援事業計画について検討していただき、答申することが目的であり重要なものです。</p> <p>どうか皆さんの忌憚のないご意見を頂戴し、豊山町が子育てしやすい町、安全で住みよい町にしていくためによろしくお願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。まず、次第が1枚、豊山町子ども・子育て支援事業計画の策定について（諮問）が1枚、事前にお送りしました資料No.1「豊山町子ども・子育て支援事業計画（素案）」、また、本日、配布しました資料No.2「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等について」は、お持ちでしょうか。</p> <p>資料がない場合は、お申出ください。また、本日の議事内容につきましては、録音させていただきます議事録を作成いたします。議事録は後日、町のホームページに掲載させていただきますが、承認いただけますでしょうか。</p> <p>— 「異議なし」 —</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>議事録の内容につきましては、委員の皆様の確認が必要となります。後ほど、会長から「議事録署名委員」が指名されますので、指名されました委員2名と会長の3名の方でご確認していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

	<p>それでは、これより、議題の審議に入ります。会議の進行につきましては、会長の取り回しでお願いいたします。</p>
会長	<p>それではただ今から、議事の進行をさせていただきます。 会議録署名委員の指名ですが、安藤委員と中村委員を指名いたします。 後日、事務局が本日の会議録に署名に伺いますのでよろしくお願いいたします。 それでは、次第に沿いまして、議題（１）豊山町子ども・子育て支援事業計画（案）について、事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>資料を用いて説明</p>
会長	<p>説明が終わりました。 委員の皆様からのご意見・ご質問がありましたら、いただきたいと思えます。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>時代の流れもあって、国では認定こども園をとということがあると思えます。60ページの認定こども園に関する考え方で、豊山町は、将来的にも待機児童ゼロを堅持していくために、認定こども園に移行していきたいというふうに取れるのですが、実際には、保育園の設備が整っていて、PRがうまくいっているのか、平成27年度の私どもの幼稚園は、定員に満たないような状況になっています。認定こども園の整備を検討する必要があるという表現は、適当ではないと思えます。</p>
事務局	<p>今、来年度の幼稚園の状況をお聞きしたわけですが、現状を捉えて、認定こども園の整備を検討する必要があるとしたわけではありません。平成28年度以降は、今、おっしゃられた状況とは違ってくるかもしれません。特に、豊山町は、全体の人口も増えてきており、若いご夫婦が家を買われて、豊山町に住まわれることが多くなっています。その結果、子どもが増えてきて、数年後には、状況が全く違ったものになっているかもしれません。将来的に町立保育園を認定こども園に移行することもあるかもしれません。対応策として認定こども園に移行することも選択肢の一つであるという意味もありまして、このような表現になっております。</p>
委員	<p>将来的な子どもの推計人口をみると減少していくようでありまして。私立の幼稚園が認定こども園にすんなりと移行できればいいですが、移行するには保育園の業務を加えなさいとか、一番ネックなのは、設備の問題です。給食を作る設備を整えないといけなくなると、費用の問題と、現状の敷地内で新たな建物を建てるスペースをどのように確保するかなどの課題があります。こうした課題をどのように克服するか分からない状態で、認定こども園に移行してくださいと言われても難しい。町が、必要に応じて対応していくというスタンスであればいいのですが。</p>
事務局	<p>町としては、必ず認定こども園に移行していくという考えではありません。待機児童をゼロにするための手法として、認定こども園の移行があるということでありまして。また、既存の施設というのも、幼稚園だけを捉えて言っているわけではありません。</p>
委員	<p>幼稚園から認定こども園に移行していくことが一般的だと思います。</p>

事務局	清須市が、公共地を提供して、認定こども園をやりませんかと募集して、どこか、手を挙げられたところがあると聞いております。こうした例もありますので、ご理解をいただきたいと思ひます。
委員	53ページ中、児童委員（民生委員）となっていますが、民生委員児童委員ではないでしょうか。
事務局	正式な名称が、民生委員児童委員ですので改めます。
委員	55ページのところで、障害を漢字で「害」と書いてあるものと、ひらがなで「がい」と書いてあるものがありますが、その使い分けは。
事務局	法や例規などで漢字になっているものは、漢字で表記しております。再度、例規などと照らしあわせて、ひらがなになっているものは、ひらがなに改めます。
委員	22ページのアンケート調査結果でその他とされた方は、具体的にどのように書かれていたのでしょうか。
事務局	今、回答できませんので、後日、回答させていただきます。
会長	質問も終わったようですので、続きまして、議題（2）特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等について、事務局より説明を求めます。
事務局	資料を用いて説明
会長	説明が終わりました。 委員の皆様からのご意見・ご質問がありましたら、いただきたいと思ひます。いかがでしょうか。
委員	7ページの表の網掛けはどのような意味でしたでしょうか。
事務局	標準時間認定と短時間認定によって延長保育料がかかる時間帯が違ってきますが、網掛けの部分は、延長保育料がかかってくるようになります。通常保育時間のところが網掛けになっているのは、間違いです。申し訳ありません。
会長	質問も終わったようですので、これで今回の議題については終了とさせていただきます。 続きまして、（3）その他について事務局からありましたらお願いします。
事務局	ありません。
会長	委員の皆様から何かございますか。 ないようですので、これをもちまして、平成26年度第4回子ども・子育て会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

平成27年3月5日

会長 井上 博司

署名人 安藤 弘治

署名人 中村 里美